

令和6年第8回

教育委員会定例会会議録

令和6年8月5日

令和6年第8回教育委員会定例会会議録

令和6年8月5日（月）

出席者（5名）

教育長 貝ノ瀬 滋
委員 松原 拓郎
委員 野村 幸史

委員 畑谷 貴美子
委員 須藤 金一

欠席者（0名）

出席説明員

教育部長 松永 透

教育部調整担当部長、総務課長

齊藤 真

総務課施設・教育センター担当課長
村部 修弘

学務課長 久保田 実

学務課教育支援担当課長、指導課統
括指導主事、指導課支援教育担当課
長 星野 正人

指導課長 福島 健明

指導課教育施策担当課長、指導課統
括指導主事、教育政策推進室個別最
適化担当課長

教育政策推進室長 越 政樹

齋藤 将之

三鷹市立三鷹図書館長

三鷹市立三鷹駅前図書館担当課長

大地 好行

川島 敏彦

教育部理事（スポーツと文化部調整
担当部長） 平山 寛

教育部参事（スポーツと文化部生涯
学習課長） 八木 隆

教育部参事（スポーツと文化部スポ
ーツ推進課長） 二浦 孝彦

事務局職員

副参事 青木 涼子

主事 野口 耀羽

令和6年第8回教育委員会定例会
議 事 日 程

令和6年8月5日（月）午後1時開議

- 日程第1 令和7年度使用中学校教科用図書及び小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択について（協議）
- 日程第2 議案第25号 令和7年度使用小・中学校教科用図書及び小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択について
- 日程第3 教育委員会の個別計画改定に向けた基本的な考え方等について（協議）
- 日程第4 教育長報告

午後 1時00分 開会

○貝ノ瀬教育長 皆さん、こんにちは。暑いところお集まりいただきまして、ありがとうございます。ただいまから令和6年第8回教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録署名委員は、畑谷委員にお願いしたいと思います。

それでは、議事日程に従いまして議事を進めてまいります。

日程第1 令和7年度使用中学校教科用図書及び小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択について（協議）

○貝ノ瀬教育長 日程第1 令和7年度使用中学校教科用図書及び小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択についてを議題といたします。

初めに、事務局から経過説明をお願いしたいと思います。松永部長。

○松永教育部長 それでは、令和7年度使用小・中学校教科用図書及び小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択に関わるこれまでの経緯をご説明いたします。

初めに、小学校の教科用図書採択についてご説明いたします。小学校につきましては、令和5年度に採択をいただいたところであり、令和6年度から新たに採択した教科書を使用しています。法令によって4年間同一の教科用図書を使用することになっておりますので、令和7年度は今年度と同一のものを採択することとなります。

次に、中学校の教科用図書採択についてご説明いたします。中学校の教科用図書採択は、令和7年度から使用する教科書を文部科学省の検定に合格した教科書の中から、各教科、種目ごとに採択していくことになります。

本日、配付させていただきました「令和7年度使用中学校教科用図書採択の手順」という資料をごらんください。

中学校の教科用図書の採択について、教育委員会は、本年5月に中学校教科用図書選定資料作成委員会を設置し、各種目の教科用図書について調査研究を依頼したところでございます。選定資料作成委員会は、校長、副校長、そして保護者の方を委員とし、本日の教育委員会での教科用図書採択に向けた選定資料を作成していただきました。

資料作成に当たっては、同委員会の下部組織として、教科ごとに教科書調査研究部を設置し、10の教科部会に各学年からそれぞれ1名ずつ、技術・家庭科については、技術1名、家庭1名の合計2名、ただし、非常勤講師が担当している学校からの選出はいたしておりません。こういった代表の先生をご推薦いただき、調査研究をお願いいたしました。教科書調査研究部は、部長である校長、副校長に加え、各教科7名、技術・家庭は10名の委員で構成し、合計83名の三鷹市立中学校の先生方に教科書の調査研究に携わっていただきました。

5月15日からの調査研究を行い、部会ごとに協議し、調査研究の結果を各部長が取りまとめ、6月13日に中学校教科用図書選定資料作成委員会に提出していただきました。

提出された調査研究資料を選定資料作成委員会で検討し、6月21日の委員会で最終的に取りまとめ、7月1日に中学校教科用図書選定資料作成委員会委員長より、中学校教科

用図書選定資料が教育委員会に提出されました。

今回、調査研究を行った教科用図書は10の教科で、教科の中で分かれている国語の書写、社会は地理、歴史、公民と地図、音楽は一般と器楽、技術・家庭は技術分野と家庭分野がありますので、それらを加えた合計16種目の教科用図書です。文部科学省の検定を経たこの16種目の中学校教科用図書について調査研究を行い、資料の作成をしていただいたところでございます。

続きまして、小・中学校教育支援学級用教科用図書につきましてご説明いたします。教育支援学級の教科用図書につきましては、文部科学省検定済教科用図書または文部科学省著作教科用図書を使用することが適当でないときには、一般図書を教科用図書として使用できるということが規定されております。

このことから、事務局におきましては、5月中に全ての教育支援学級設置校について、通常の学級で使用している文部科学省検定済教科用図書を使用することについての調査を行いました。結果としましては、小学校、中学校ともに、全ての教育支援学級設置校において、通常の学級で使用している文部科学省検定済教科用図書を使用することが適当でないとする回答はございませんでした。

なお、6月4日から7月5日まで、教育センターにおきまして教科書展示会がございまして、102名の保護者、市民の方々においでいただくとともに、63名の方からアンケートにご回答、ご意見をいただきました。また、各学校においても、教科書を使用する当事者である生徒にも教科書を閲覧してもらい、約200人の生徒から意見をもらいました。選定資料作成委員会には、それらを踏まえて選定資料を作成、提出をしていただいたところでございます。

これまで教科書採択に向けて様々な資料や意見を踏まえ、十分に検討を積み重ねていただきました。本日は、教育委員の皆様が採択にふさわしいと捉えられた教科書を候補として挙げていただきまして、具体的な協議を行い、採択をしていただきたいと思いますと考えております。

なお、本日採択しましたら、8月31日までに東京都教育委員会に採択結果を報告することとなります。

経緯に関する説明は以上となります。よろしく願いいたします。

○貝ノ瀬教育長 説明ありがとうございました。今日に至るまでの教科書選定資料作成、そして手順につきましてお話をいただきました。

私どもも、作成していただきました選定資料を基にしまして、改めて各教科の教科書を拝見しまして、今日までそれぞれに研究をしてまいりました。本日は教科ごとの教科書の選定に向けまして、各委員の皆様と協議を進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは初めに、令和7年度使用の中学校教科用図書について協議をしたいと思います。

まず、国語について協議を始めます。委員の皆様、どなたでも結構ですが、ご発言をお願いいたします。

松原委員、お願いします。

○松原委員 国語の教科書、全て拝見させていただきました。国語については、特にどのような教材で学ぶかということが非常に大事だと常々思っています。そういう観点から拝見したんですけれども、例えば、東京書籍さんの教科書は、私は非常にシンプルで、子どもたちが考えやすいような構成になっていると感じました。先生方が教えるときには細かいほうがもしかしたら使いやすいという点でもいいのかもしれませんが、子どもたちが自分で考える、子どもたち目線主体の関係で考えると、内容が細か過ぎるというのもどうなのかなと思って、非常にその点が気になったというところがございます。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがですか。畑谷委員、お願いします。

○畑谷委員 三省堂さんの巻頭にありました「思考の方法」としての9種類の思考方法を示しているのがいいなと思いました。子どもたちが考えを深めたり、整理したりする際にはとても参考になるなと思いました。

○貝ノ瀬教育長 分かりました。

ほかの委員さん、いかがですか。野村委員、お願いします。

○野村委員 畑谷委員のご意見を受けて、考え方を学ぶというのは自立的な学習態度の形成に非常に重要であることは言うまでもないと思います。しかし、どの教科書でも皆取り扱っているなというのを見てみるとよく分かります。教育出版においても、「みちしるべ」と称して内容整理方法の参考例を挙げています。まとめる上での着眼点として有用な支援と思います。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかに。畑谷委員。

○畑谷委員 私も教育出版さんの教科書を見た瞬間、紙が白過ぎなくて、視覚的に目に優しいなという印象を一番最初に受けました。また、単元ごとに「広がる本の世界」という欄があるんですけれども、その都度、関連した本が載っていて、子どもたち、生徒の読書への関心が向くのかなと思いました。

○貝ノ瀬教育長 分かりました。

そのほか、例えば、三鷹市の地域性というような点で見ていただいたということではどうでしょうか。

野村委員、ございますか。

○野村委員 三鷹にゆかりのある太宰治の「走れメロス」ですけれども、これはどの教科書でも取り上げられています。地元に関わる人物が載せられているということによって興味を呼び起こして、文学への関心が高まることを期待いたします。

○貝ノ瀬教育長 分かりました。

ほかにはどうですか。畑谷委員。

○畑谷委員 強いて言えば、三省堂さんは参考になる教材が多く掲載されていると感じました。同じ太宰の作品で、「お伽草子」や「人間失格」、そして、太宰に影響を与えたシラーの作品との関わりなど、子どもたちの興味を広げるような工夫が見られました。

○貝ノ瀬教育長 そのほか、どうですか。松原委員。

○松原委員　今、三省堂さんのお話があったので、そちらの関係で感想を述べますと、こちらの教科書の中で、又吉直樹さんが読書体験としてコラムを掲載されていたのがありました。そこで又吉さんの作品の「火花」も紹介されているんですけども、「火花」は、読んだ方は分かるかと思うんですけども、吉祥寺も登場する、舞台になっている作品です。あと、又吉さんが実際、大阪から上京されてきて最初に住まれたのが太宰邸だった跡のところのアパートだったとか、そういったお話もあったりするようで、子どもたちが身近に感じるという地域性みたいな点では、すごく三鷹は得だなとか、いいなと思いました。

○貝ノ瀬教育長　確かに、著名な文学者との関わりの深い三鷹ならではのというお話だと思いますが、須藤委員も何かご発言を。

○須藤委員　学習用のタブレット端末を生かしたデジタルコンテンツ、非常にどの教科書も豊富に掲載されていると感じました。特に光村図書出版なんですが、書くことに関する課題として、二次元コードで、「書くことのミニレッスン」という課題が配信されるようになっています。生徒がその環境や時期などを気にせず、自主的に学習に取り組めるような工夫があるというのが非常に印象に残りました。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございます。自主的に取り組める課題としては、同じくやはり、光村図書出版には、身につけた資質、能力の定着度を測る「国語の力試し」というページが設けられているんです。3領域と知識・技能についての問題演習という形で取り組むことができるようになっているということは私も確認をいたしました。

ほかにどうですか。松原委員。

○松原委員　今、光村図書出版さんのお話があったので、そちらを拝見した感想ということでお話をしますけれども、扱われている作品の数が非常に多い、すごくいいなと思いました。あと、いろいろと教科書の中で様々な作品を取り上げたり紹介もしておられるんですけども、そのセレクトも非常にいいなと思ったりしました。

今の子どもたちは多様な価値観の中で生きていく中で、そういう作品をたくさん読んで、いろいろな作品に浸っていただいて、それで自分の考えを深めるみたいな機会を授業の中でたくさん持ってほしいなと思いました。

○貝ノ瀬教育長　なるほど。分かりました。

今年度の全国学力調査では、中学校の「読む」技能が課題であるということが明らかになったということもありまして、今、お話しのように、大事な視点だろうと思います。それでは、生徒の読む力の育成を重点と捉えて、光村図書出版ということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○貝ノ瀬教育長　協議の結果、国語科の教科書は光村図書出版といたします。

続いて、書写について協議を始めます。

いかがでしょうか。畑谷委員。

○畑谷委員　書写につきまして、どの教科書も鉛筆の持ち方、それから、書くときの正しい姿勢をしっかりと示しているというのが、小学生のときから続けて、中学生になっても

姿勢というのは一生続きますので、これは最初に書いてあるのがいいなと思いました。

また、学習の流れが明確に示されているのがいいなと感じました。東京書籍なんですけれども、こちらは「1、見つけよう」「2、確かめよう」「3、生かそう」という手順が示されていて、生徒が自ら進んで学習に取り組めるような工夫があると思いました。

○貝ノ瀬教育長 なるほどね。

ほかの委員さん、いかがですか。須藤委員。

○須藤委員 今の畑谷委員の意見のポイントに沿って言うと、三省堂も非常に学習の見通しを持っていて、日常生活に生かせるように、見開き2ページになって構成されていました。学習内容が一目で分かるというような工夫だと思います。

○貝ノ瀬教育長 分かりました。

ほかの方。松原委員。

○松原委員 今のお二人の委員のご発言、もっともだなという感想を思いました。

子どもたちは小学校で正しい鉛筆の持ち方だとか、あと姿勢とかそういったもの、姿勢は私もよくないのでほんとうに気をつけなくちゃいけないですけども、そういったものを身につけてくるということがあって、中学校でも正しい筆の遣い方とか、そういったものをしっかり身につけられるというのはすごく大事なことだなと思っています。

あとは、光村図書出版についての感想を述べますけれども、筆圧の強さをイラストとか数値とかで表しておられまして、それはいいなと思いました。生徒たちが筆の遣い方とか、それを明確にイメージしながら取り組むということができるとなと思って読みました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

そのほか。野村委員。

○野村委員 各委員が言われるように、具体的な筆遣いや姿勢を確認できるというのは非常に重要なことであることは言うまでもありません。

教育出版について言えば、「まなびリンク」は、二次元コードに使うって、毛筆教材についての分筆の動画が視聴できるようになっていて、非常に便利だなと感じた次第です。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

そのほか。畑谷委員、お願いします。

○畑谷委員 ただいま野村委員がおっしゃったように、教育出版にあります、文字について全て模範となる動画がありますので、それは生徒が自分で必要とするときのタイミングで動画をすぐ見に行けるとするのはいいことだなと私も思いました。

○貝ノ瀬教育長 なるほど。

須藤委員。

○須藤委員 その動画のことについてなんですが、欠席した生徒とか、あとは、学校にどうしても来たくても来れないような生徒さんもいらっしゃるの、そういった方々には非常に模範となる筆遣いが動画で確認できるというのは非常に効果的だなと思います。

○貝ノ瀬教育長 そのほかの方はどうでしょうか。いいですか。

それでは総合的に見て、教育出版ということではよろしゅうございませうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長　それでは、協議の結果、書写の教科書は教育出版といたします。
次に、社会科、地理的分野に参ります。では、ご発言をお願いいたします。

須藤委員。

○須藤委員　4社とも写真や二次元コードが非常に充実しているなど。あと、地理的な分野においては、資料を活用して学習を進めたり、資料を比較して考察したりして学ぶということが大切なのかなと思いますので、生徒がたくさん資料に触れるということは大変いいことだと思っています。

そんな中で、東京書籍は、巻頭ページに世界の食事を取り上げておまして、地理的な側面から食事の違いについて掲載しているので、地理の学習を進めるに当たっては、学び方を学べるのではないかと考えております。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがですか。畑谷委員。

○畑谷委員　私も、4社とも社会の地理的分野に関しまして、地図帳との関連づけがうまくできているなど。案内が載っていて、いいところだなと思いました。

その中で日本文教出版さんなんですけれど、SDGsや身近な産業の様子を取り上げ、そして、地理的な見方・考え方について、イメージしながら学べるように配慮されていると思います。

また、単元ごとに、「確認」と「表現」について振り返りや課題の設定がされており、生徒自身が主体的に学習を進めることができるような構成になっていると思います。

○貝ノ瀬教育長　なるほど。分かりました。

ほかの委員さん。野村委員。

○野村委員　私は教育出版と帝国書院の2つについての感想を述べたいと思います。

教育出版は小学校での学習の進め方を振り返り、歴史、公民との関連づけた記述がほぼ全ページに記載されています。毎單元ごとに小学校の学びと他の領域との関連を意識しながら学習が進められるということは、理解を深めるのに有用と思いますし、三鷹市の小・中一貫教育で生かすことができる教材ではないかなと感じました。

帝国書院でも小学校の既習事項や歴史、公民との関連づけで学習を進められるような記載がございます。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございます。

ほかの方、松原委員。

○松原委員　今、野村委員から2つ、教科書のお話がありましたけれども、その中の教育出版について、私の感想を述べたいと思います。

教育出版は各章末に「学習のまとめと表現」という振り返りの場面が設定されているんですけども、そこで、知識だとか技能だとか、そういったことだけではなくて、思考力とか判断力とか表現力といった観点から学習を振り返るというようなことがそこでできて、全体としてバランスが取れた、いわゆる資質・能力という言い方をすることも可能かもしれませんが、そういったものを育てることができるのではないかと感じました。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがですか。

今、お聞きしますと、4社とも地域との関わりにおきまして、生徒が主体的に学ぶことができる、そういう単元が設定されているという中で、教育出版については、地域の課題をどのように調査して、どのように解決を進めたらよいかというような学習の進め方が丁寧に記載されていると思いますし、三鷹市の小・中一貫カリキュラムにあります「三鷹地域学習」をより有効に進められるのではないかと感じたところです。

委員の皆さんのお話からも総合的に判断をして、社会の地理的分野については、教育出版としたいのですが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 それでは、協議の結果、社会の地理的分野は教育出版といたします。

次に、社会の歴史的分野について協議を始めます。

それでは、ご発言をお願いいたします。須藤委員、お願いします。

○須藤委員 どの教科書も歴史を学ぶ意義について丁寧に学ぶことができる教科書となっているなと思いました。中でも「歴史のモノサシ」とか「年表を読み取ろう」、あと、「人物を通して時代をとらえる」とか、そういったような形で、年代や人物などに着目しながら、歴史を学ぶ意義や考え方を単元の冒頭で丁寧に説明する記述などがありました。生徒が興味・関心を持って学習を進めることが大事だと思うので、その点は見方としては大事なかなと思います。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがですか。畑谷委員、お願いします。

○畑谷委員 私も、教科書が小学校とのつながりを意識した構成になっていると感じました。小学校で学習した時代、人物、文化、年代の表し方を振り返り、中学校への学習に滑らかに進めるよう工夫が見られていると思いました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがですか。野村委員、お願いします。

○野村委員 デジタルコンテンツの観点から何社かの意見を述べたいと思います。

教育出版と日本文教出版では、二次元コードからワークシートにアクセスできて、まとめ学習や家庭学習に配慮されているなど感心しました。東京書籍は、単元の初めでデジタルコンテンツにアクセスすることによって、生徒が興味や問題意識を持つ工夫がよくされているなど感じました。単元の終わりにも「まとめるワークシート」があって、生徒の振り返りと同時に教員の授業準備にも役立つだろうと感じられました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。デジタルコンテンツの観点も非常に重要なところですが、松原委員、お願いします。

○松原委員 今お話のありましたデジタルコンテンツの関係からですが、どの教科書もいわゆる二次元コードと言われているものを記載しておられて、これはほんとうに有効に活用できるなど改めて感じたところです。

特に東京書籍ですが、時代の変化が捉えやすいような動きがあるデジタル教材みたいなものが多く採用されているなど感じました。こういうのは紙の教科書だけでは捉え

にくいところですので、そういった部分については長けているなと感じたところです。

あと、もう一社ですけれど、教育出版さんについても同じように、歴史的な見方だとか考え方だとか、そういったことを生徒さんが自ら自分で考えを働かせるようなことができるように、例えば、「歴史にアプローチ」とか、「見方・考え方のコーナー」といったところがありまして、生徒がそれぞれ課題に対して自分で追求しやすいような構成になっているなと感じたところです。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございます。

ほかの委員さん、よろしいですか。畑谷委員。

○畑谷委員　生徒が課題に対して自分で追求していくという考え方では、山川出版さん、それから帝国書院さんでは、単元の最後に「ステップアップ」とか「歴史を探ろう」というページが設けられていて、探究的な学びが進められやすいなと感じました。

また、東京書籍さんなんですけれども、単元全体を貫く「探究課題」を立て、1単位時間ごとの学習課題や課題解決の方法を学習しながら、単元を通して探究的な学びを実現する進め方は大変興味深いなと感じました。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがですか。

今、お話しのように、どこの社も工夫していますし、また、甲乙なかなかつけ難いんですが、東京書籍については、歴史研究の成果を踏まえた復元写真ですとか想像図など資料が豊富に記載されているということ。生徒の学習を深めたり広げたりしながら、生徒が主体的に探究的な学びを実現できる構成になっているのではないかと思います。

委員のお話からも、総合的に判断をして、社会の歴史的分野については東京書籍としたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○貝ノ瀬教育長　それでは、協議の結果、社会の歴史的分野については東京書籍といたします。

次に、社会の公民的分野に入ります。

それでは、ご発言をお願いいたします。松原委員。

○松原委員　今回、公民の教科書、6社あったかと思いますが、今日的な様々な課題についての教材がほんとうに豊富に取り上げているなと感じました。

その中で、教育出版と日本文教出版ですけれども、生徒の関心とか興味とかを引き出すための例えばイラストだとか、あと、生徒の学習意欲を引き出す、促進をするための学習課題ごとの見方・考え方の項目を提示するとか、そういったことについてされているなというところを感じました。そういうのがあると、生徒の理解が容易になるなということと、あと、各単元の結びつきを明確に示すことができるので、それによって生徒たちが自分のこととして自分で考えて学習するということができるようになるのかなと感じています。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがですか。野村委員、お願いします。

○野村委員　学習の理解を深めて発展させる工夫という観点から意見を述べたいと思い

ます。学習したことの理解を深め発展させるためには、特に単元末の構成は大変重要だと考えます。東京書籍では「もっと知りたい」、教育出版では「学習のまとめと表現」、日本文教出版では「やってみようチャレンジ公民」など、各社がページを割いて学びを深めたり、実際生活や社会で生じる問題について考え、主体的に学習できるように工夫されていると感じています。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかの委員さんは、よろしゅうございますか。畑谷委員、お願いします。

○畑谷委員 帝国書院さんですけれども、統計資料が豊富にありまして、生徒が多面的・多角的に考察することができる内容になっていると感じました。

また、学習の振り返りの場面では、図や表でまとめることができるように構造化されていて、生徒の発達段階なども考慮された構成になっていると思いました。

東京書籍さんなんですけれども、こちらも「スキルアップ」や、それから、「みんなでチャレンジ」のページで発展的な学習活動へ促す内容や今後取り組むべき課題についての記載があり、探究的な学びに適していると思いました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

須藤委員、お願いします。

○須藤委員 私も東京書籍についてなんですけど、単元の初めに、その単元で学ぶ話題や問題提起をしています。生徒一人ひとりが問いを持って学習を進められるようになっていて、その部分は非常に大きな特徴だなと思いました。また、対話的な学び、協働的な学びを進めるに当たって、生徒の自発的な対話を促す仕掛けが多くあると感じました。例えば、「国の政治の仕組み」の三権の抑止と均衡のページで複数の新聞を提示していました。見比べながら意見を交わすことができたり、あと、「私たちの暮らしと経済」の消費者の権利を守るページでは消費生活相談件数が記載されていて、その件数の多少に着目して、社会問題について議論ができたりするようになっていて、先生も生徒の興味関心を引き出しながら、生徒が自発的に学ぶことができる授業をつくることのできるのかなと思いました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

6社ともいろいろ工夫をした教科書になっていると思いますが、特に東京書籍ですが、「18歳へのステップアップ」という項目がございますよね。一消費者としての社会との関わりですとか、18歳と20歳にできることに分けて社会へ積極的に参加を進めるという観点が、三鷹市の教育ビジョンに掲げております「人間力」「社会力」への育成に向けた社会との関わりについて、大きく関係していると考えられると思います。

委員さんのお話からも総合的に判断をして、社会の公民的分野については東京書籍といたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 それでは、協議の結果、社会の公民的分野は東京書籍にいたします。

次に、地図帳について協議を始めます。

それでは、ご発言をお願いいたします。野村委員。

○野村委員　これは2社の比較ですが、2社とも地域の特徴が理解しやすいように工夫されていると感じています。帝国書院は、写真を多用して各地域をイメージしやすくなっていますし、東京書籍は、欄外に「B e e ' s e y e」と称する問いが設定されていて、地図を深く読み取る工夫がなされています。

○貝ノ瀬教育長　ほかに。松原委員。

○松原委員　今、野村委員から工夫の話がありましたので、その観点から私の意見を述べたいと思いますけれども、確かに、地図帳は、私も小さいときに見るのは楽しかったんですけど、見やすさとか使いやすさというのはほんとうに大事だなと思います。

東京書籍さんについては、色合いが落ち着いていて、例えば、地図の中の文字もとても読みやすいなといった印象を受けました。あとは、地図帳だけでも学べるみたいな工夫があったりしていて、例えば、「畜産が盛んな地域の特徴と自然環境について調べよう」みたいな問題があったんですけども、そういった問題が提示されていて、そういうのがあると、関連させて地図を見るのが楽しくなってくるなと感じたりしました。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがですか。畑谷委員、お願いします。

○畑谷委員　帝国書院さんなんですけれど、こちらはデジタルコンテンツの内容が大変充実していると思いました。その地域の詳しい資料や地域の特徴を可視化しているジオグラフィなど様々なコンテンツがあり、個別最適な学びと協働的な学びの充実に大きく役立つのではないかと思います。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございます。

須藤委員、どうですか。

○須藤委員　2社とも非常に工夫されているなという印象があるんですが、中でも帝国書院なんですけど、「地図で発見」というコーナーがありました。クイズ形式になっているので、考えながら楽しく地図を活用できるような工夫がされているなと感じました。

また、デジタルコンテンツも、SDG sに関する記載が豊富だったので、これは社会にとらわれず、ほかの教科でも役立つのではないかなと思いました。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございます。

よろしいですか。松原委員。

○松原委員　先ほど感想を述べましたけれども、追加でお話しできればと思います。

今、各委員からお話があったと思うんですけど、それぞれの教科書、読み物としてもほんとうに充実している地図だなと感じます。世界の地図のページを開いてみると、例えば東京書籍さんは、いろいろな国の料理だとか、その人々の様子だとか、そういった写真が記載されていて、そういったところから、生徒の興味とか関心とかを引き出すといった工夫があるんだろうなと思います。

もう一社、帝国書院さんですけども、こちらも各種各国の資料がすごく豊富に記載されておりまして、そこにイラストとか写真とかそういったものも載せられていて、これも大変分かりやすく学べるなと感じます。

こういうのは地理を調べるみたいなことにとどまらないで、関連する様々な資料に触れ

る、そういった構成は非常に評価できるのではないかと感じました。

以上です。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

今、お話しのように、2社とも地図の活用が楽しくなるような工夫をたくさんしているということは間違いのないところではありますが、地図帳を活用して発展的な学びを大事にするということで考えますと、地図帳は帝国書院ということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 それでは、協議の結果、地図帳は帝国書院といたします。

次に、数学について協議を始めます。ご発言をお願いいたします。

畑谷委員。

○畑谷委員 大日本図書とか、それから学校図書さんですけれども、こちらは「学習のめあて」や「課題解決に向けた学習の流れ」がとても分かりやすい教科書だなと感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかの方、野村委員。

○野村委員 数研出版のことですけれども、吹き出しにヒントを提示するなど、考えたり話し合ったりする際の視点が示されていて、学習支援の工夫を感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかの社はどうでしょうか。須藤委員。

○須藤委員 2社、日本文教出版さんや啓林館さんなんですが、主体的だったり対話的な学習活動を促すような見出しや設問が非常に多くあるなと感じました。

黙々と問題を解くだけではなくて、仲間とディスカッションしながらその問題を解く、解決していくといったような姿勢を育てることは非常に大切だと思いますし、楽しく学べるというのがすごくいいなと思います。

○貝ノ瀬教育長 分かりました。

ほかはどうですか。野村委員、お願いします。

○野村委員 今度は教育出版ですけれども、学びの定着を図るという視点では、各教科書とも単元ごとにまとめの問題がございます。教育出版では二次元コードから実際に手を動かして理解を深めたり、解答や問題の解説動画が見られたりするなど、様々な視点で支援がされていると感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかに。須藤委員。

○須藤委員 もっと学びたいとか、そういった意欲のある生徒に向けて、巻末に補充問題が用意されている教科書も非常に多いなと感じました。

啓林館でも、二次元コードで解答と解説動画が掲載されていて、家庭学習にも大いに役立つだろうなと感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかにいかがですか。畑谷委員。

○畑谷委員 どの教科書も日常生活の場面を取り上げていて、数学が身近に感じる問題が多いと感じました。

啓林館さんでは、校外学習で行くときに、生徒が交通費を計算して経路を検討していく場面が問題として設定されていました。数学が身近な問題になるんだなというのを実感できる教科書が多いなと思いました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。確かに、数学ですが、数学を生活や学習に生かそうとする態度や問題の解決に役立てようとする態度を養うことも大切にしたいと思います。生活の中の身近な出来事を数学的に捉えて解決する問題がたくさん用意されているということになれば、子どもたちの数学への関心も高まりそうだというお話かと思います。

ほかにいかがですか。松原委員。

○松原委員 今の畑谷委員と教育長の話がありましたけれども、確かにその点ではすごく大事なお話だと思います。その点で言うと、私は東京書籍さんが印象に残ったんですけども、例えば、「比例と反比例」の学習の導入の場面があったんですけど、そこでは水族館で飼育員さんが水槽の水の入替えをしている場面に遭遇した子どもたちが、どれぐらいの時間でたまるんだらうという疑問を感じている場面が取り入れられていました。今おっしゃっていたように、生活につなげて身近なイメージを持って考える、自然に考えるといったプロセスにつながるのかなと感じたところです。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかにどうですか。須藤委員。

○須藤委員 私も東京書籍についてなんですが、数学が得意・不得意な生徒、いろいろいらっしやると思うんですね。その中で、東京書籍さんは適度に余白もあったり、数学の苦手な生徒にとっても読み進めやすい構成になっているのかなという印象を持ちました。また、得意な子どもにとっては「B問題」というのがあって、発展問題も用意されていて、そういった意味では、どの生徒にとっても使いやすいのではないかなと思います。

○貝ノ瀬教育長 野村委員。

○野村委員 松原委員、それから須藤委員の東京書籍についての認識、あるいは印象については、私も同様に思います。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

今ほどお話が出ましたように、どの教科書も生徒の自立した学びを促す工夫ですとか、数学的な見方・考え方を伸ばすための工夫が盛り込まれているというお話でしたけれども、どの生徒にとっても使いやすいという観点から考えますと、今までお話が出ましたように、数学は東京書籍ということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 協議の結果、数学の教科書は東京書籍といたします。

理科について協議を始めます。ご発言をお願いいたします。

須藤委員。

○須藤委員 理科は5社の教科書があるんですが、どの会社も鮮明で非常にクリアな写

真がたくさん掲載されていました。その中でも啓林館は挿絵とか写真が大変豊富でして、生徒たちの多くが興味・関心を寄せるような姿がこの教科書を使うと非常に目に浮かんでくるなという印象です。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

そのほか。畑谷委員、お願いします。

○畑谷委員 私もそう思いました。理科は、物質の変化や自然現象など日常生活ではなかなか見ることができないものを扱っているの、いかに再現することができるか、あるいはイメージすることができるかが分かりやすい授業の重要なポイントになると思います。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。確かにそうですね。

ほかの委員さん。須藤委員。

○須藤委員 教育出版なんですけれど、非常に興味深いなと思ったんですが、三鷹市にある国立天文台で撮影された星空の写真が掲載されていました。これは三鷹の児童・生徒にとっては非常に親近感を感じられるということで、三鷹の子どもたちにとってはインパクトがあるのかなと思います。

○貝ノ瀬教育長 そうですね。事物事象の変化を鮮明にイメージしたりとか、実験手順を理解して正確に行えるようにすることは大切だという理科の教科特性から考えますと、写真やデジタルコンテンツが豊富という点は、お話のように、学びを深めるという意味からも大いに役に立つということが言えるんだろうなと思いました。

ほかの委員さん。野村委員。

○野村委員 啓林館、教育出版、2社、今、ご案内がありましたから、私は学校図書について少し意見を述べたいと思います。

今、二次元コードは、数学に限らずどこの教科書にも多用されていますけれども、学校図書では実験動画の最新の科学ニュースに触れることができ、理科への関心を高めるとともに、自主学习用のチャットボット機能が備えられていて、これは目新しい、有用だなと感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかはどうですか。松原委員。

○松原委員 今、野村委員から二次元コードの話があったので、二次元コードと家庭学習みたいな関係でのお話、感想を述べたいと思います。

家庭学習という観点で言うと、東京書籍の教科書はとても役立つのではないかなと考えました。単元のそれぞれ最初には、二次元コードで「スタート動画」とか「学習前ワークシート」みたいなものが用意されておりまして、こういったものがあると学習への動機づけがしっかり図られるのではないかと思います。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

須藤委員、お願いします。

○須藤委員 私も東京書籍についてなんですが、学習のまとめりごとに自分の考えをまとめる設問が入っています。考えを表現させようという教科書の意図をすごく感じます。

また、単元の最後に用語集とか確かめ問題が用意されておりまして、学校をお休みしてし

まった生徒も教科書に沿って考えていけば、十分学べるつくりなんだろうと感じます。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかにご意見は。野村委員。

○野村委員 大日本図書にも触れたいと思います。大日本図書では、実験機器の操作方法や問題解決のプロセスを簡潔明瞭に提示しているので、自学には適しているなどという印象を持ちました。

○貝ノ瀬教育長 なるほど。分かりました。

ほかにかがですか。畑谷委員。

○畑谷委員 私は、東京書籍で注目したところは、「歴史にアクセス」というコーナーです。理科の世界がどのように発展していったかを知ることができて、読み物としても大変興味深い教科書だったと思います。

○貝ノ瀬教育長 そうですか。分かりました。ありがとうございます。

今までのお話をお聞きしていると、やはり東京書籍を推す声が多いようですけれども、総合的に見て東京書籍ということにしたいと思えますけれども、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 協議の結果、理科の教科書は東京書籍といたします。

次に、音楽・一般について協議を始めます。ご発言お願いいたします。

野村委員、お願いします。

○野村委員 教育芸術社、教育出版ともに、歌唱の共通教材として三鷹市ゆかりの音楽家である三木露風の作品が扱われているのが特徴だと思います。地域への愛着とともに音楽への関心につながることを期待したいと思います。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかの委員さん。畑谷委員。

○畑谷委員 私も三鷹市ゆかりのという意味で、小学校の教科書にも三鷹のジブリの作品、愛着のある「となりのトトロ」の主題歌の「さんぽ」の歌が載っていました。そして、教育芸術社に掲載されている「君をのせて」、これは「天空の城ラピュタ」のエンディングの曲なんですけれども、三鷹の子どもたちにとっては、とても親しみやすいのではないかなと感じました。ぜひ歌ってみんなで覚えてほしいなと思いましたので、いいなと思いました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかの委員さん。須藤委員。

○須藤委員 私も教育芸術社の「生活や社会の中の音や音楽」というページが非常に興味深いなと思いました。生徒たちがふだん聞いているような音とか日常生活に溶け込んでいるような音楽について、改めて意識づけさせて、また、その意味や価値について考えることができるように工夫されているなと思いました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかにか。松原委員。

○松原委員 今、須藤委員がおっしゃった工夫というのは、ほんとうに大事なことの

かなと感じます。その観点で言うと、教育出版についても、例えば、生活とか社会の中の音とか、あと、音楽とか音楽文化みたいなものに興味を持ったりだとか、あと、音楽との関わり方についても興味・関心を持って考えるようなきっかけになるというような工夫が見られるなど感じました。

それとはまた別に、教育出版には「学習マップ」というのがありまして、これは生徒が見通しを持ちながら学習する上では非常に役立つのかなと感じました。

以上です。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

野村委員、お願いします。

○野村委員 松原委員同様、私も教育出版の「学習マップ」というのは特に言及すべき内容だだと思います。領域ごとの学習の流れが分かるだけではなく、領域相互のつながりが見えて、音楽を構成している要素を意識して体系的に学習できる工夫だと思います。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかの委員さん、もうよろしいですか。畑谷委員。

○畑谷委員 私も教育出版さんの「コンピュータと音楽」のページが印象に残りました。ICTを活用した音楽の学習について知ることができるようになっていて、これからの時代に必要な情報であると感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。ほかの方はよろしいですか。

それでは、お話を伺っていますと、教育出版というご意見が多いようでございますので、教育出版ということによろしゅうございましょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 それでは、協議の結果、音楽・一般は教育出版といたします。

次に、音楽・器楽について協議を始めます。ご発言をお願いいたします。

野村委員。

○野村委員 教育芸術社を取り上げたいと思います。最初のページにプロの演奏家が音楽を志した経緯をメッセージとして、大変鮮烈な内容で掲載されています。また、和楽器の合奏に取り組む中学生の様子も載っていて、音楽に対する興味・関心を引き出す工夫がよくされているなどという印象を持ちます。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかの委員さん。須藤委員。

○須藤委員 私も教育芸術社の「バンドの世界をのぞいてみよう」というのが非常に面白いなと思いました。楽器について発展的に学ぶことができる資料が充実しているなど思います。

○貝ノ瀬教育長 なるほど。

ほかに。畑谷委員。

○畑谷委員 私は、教育出版にもプロの演奏家や、そして写真メッセージが掲載されていて、生徒の関心を高めるような工夫が見られると思います。そして、写真やイラストが豊富で効果的に用いられているなど、子どもたちにとってはとてもインパクトがあるのか

など感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかに。松原委員。

○松原委員 今、畑谷委員から教育出版の話があったので、そちらの関係でお話ししますけれども、例えば、「表現の仕方を調べてみよう」というのがありまして、そこでは、ほかの子たちと協働して取り組むような工夫がされているなど感じました。例えば同じ系統の楽器とか音色とか旋律とか、そういった視点で比べて、生徒たちが問題意識、課題意識を持って、その解決のために友達と話し合いながら進めるみたいなことができるようになっていてるなど感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがですか。よろしゅうございますか。

先ほど音楽・一般は教育出版と決定をしたところですが、器楽も一般と同様に、教育出版ということで問題はないと思いますので、器楽も教育出版ということでまとめたと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 それでは、協議の結果、音楽・器楽も教育出版といたします。

次に、美術について協議を始めます。ご発言をお願いいたします。

須藤委員。

○須藤委員 開隆堂と光村図書ともに児童・生徒の発達段階や普遍的に好む題材が扱われていて、生徒の興味とか関心を引く題材となっているなど思いました。また、開隆堂と日本文教出版なんですが、三鷹市美術ギャラリーの作品も掲載されていて、地域の自然とか風景に着目される工夫がされていて、いいなど思いました。

○貝ノ瀬教育長 分かりました。

ほかに。畑谷委員、お願いします。

○畑谷委員 私も、3社とも生徒の発想にヒントになる記述が大変多くて、考えたり表現することを楽しみながら学習できるのではないかと思います。

日本文教出版さんは、記載されている作品数や情報量が多いので、先生にとってもとても参考になり、扱いやすいかななど思いました。

○貝ノ瀬教育長 なるほど。分かりました。

野村委員。

○野村委員 畑谷委員と同様の感想を持ちます。日本文教出版は非常にいろいろな取組が意欲的になされていて、特に「表現のヒント」という、実際に大人でもなかなか表現するというは大変難しいことですが、その発想、構想の手だてなどを支援する工夫がされています。表現方法の学習に有用だなど感じる次第です。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

松原委員はいかがですか。

○松原委員 同じ日本文教出版ですが、面白いなど思ったのが、1年生の58ページ、59ページなんですが、発想や構想の手だてとして、アーティストはどうやって作

品を作るんだらうというページがあります。そこでは、いわゆる現代的な作品について、制作に至るような発想とか構想とかといったものを実際にデザイナーさんを紹介して、そこで書かれているというのがあるんですけども、こういったものは生徒が対話を通じながら表現するというのを主体的に身につけるといえることができるなど感じまして、非常にいいなと感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

今まで委員の皆様のお話を伺っておりますと、美術は日本文教出版がいいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 それでは、協議の結果、美術は日本文教出版といたします。

次に、保健体育の教科書について協議を始めます。委員の皆様のご意見をお願いいたします。

松原委員。

○松原委員 授業の導入とかまとめとかの工夫を見ていたんですけども、そういった点では、G a k k e nさんは非常に工夫されているなど感じました。最初で「ウォームアップ」というところがあるんですけども、そこで身近な内容を取り上げたりして、そこで自分事として捉えることができるといった工夫がされていて、あと、最後のところでも「学びを生かす」というところで、実際の生活につなげるような工夫が見られる内容になっているなど感じた次第です。

○貝ノ瀬教育長 ほかの社についてはいかがですか。須藤委員。

○須藤委員 大修館書店なんですが、非常にデジタルコンテンツが豊富だなと感じました。「動画コンテンツ」「Web保体情報館」「保体クイズにトライ！」など、生徒の関心や興味を高めるような工夫が特徴的だなと思います。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

野村委員、お願いします。

○野村委員 大日本図書の特徴は、ページ構成が本文を左、資料を右ページに配置し、見やすくしていることだと感じます。また、写真も大きく、興味が引かれる掲載の仕方だなと感じています。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

須藤委員。

○須藤委員 系統性に関して言うと、どの教科書も、小学校、中学校、高等学校での学習内容の系統性を各章の扉で示しているんですが、東京書籍は、小学校の振り返りがデジタルコンテンツを活用して行えるようになっているのが非常にいいなと思います。

○貝ノ瀬教育長 分かりました。

ほかによろしゅうございますか。畑谷委員。

○畑谷委員 三鷹市は小・中一貫教育を推進しておりますので、先ほど須藤委員がおっしゃったように、デジタルコンテンツを活用して小学校を振り返りながらというのは大事なポイントだと思います。東京書籍の教科書は他のものと比較して、私が感じたのでは、

ちょっと軽いんですね。生徒の負担を考えますと、いろいろな教科書がいっぱいありますので、少しでも軽い教科書が1教科でもあったらうれしいかなと思いました。

○貝ノ瀬教育長 分かりました。ありがとうございます。

そのほかいかがですか。松原委員。

○松原委員 東京書籍の話が出たのでそちらの関係なんですけれども、例えば、性教育とか感染症とかについて、現在のいろいろな課題みたいなものがありますけれども、そういった内容についても、どの教科書も丁寧に扱われているなど感じましたが、特に東京書籍については、統計資料なども用いながら、見やすく分かりやすいものになっているなど感じました。

○貝ノ瀬教育長 分かりました。

保健の教科書は東京書籍を推す声が多いようですけれども、総合的に判断して東京書籍ということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 協議の結果、保健の教科書は東京書籍といたします。

引き続き、技術・家庭科について協議を始めます。技術分野について、まずご発言をお願いいたします。

畑谷委員。

○畑谷委員 中学1年生にとっては、技術分野のことは新しい学習になると思います。そういう意味で、教育図書さんでは「技術の問題解決とは」というページで技術分野の学習内容を明確に解説していました。学習内容がとても分かりやすく、目的がとてもはっきりしているので、分かりやすく説明してあるという点では、いいなと思いました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

そのほか。野村委員、お願いします。

○野村委員 東京書籍と開隆堂出版は、教科書の冒頭で、「技術の見方・考え方」を説明しています。特に開隆堂出版では、ボールペンを例えに挙げて、「便利さなどの願いや要求を追求する際に、科学の考え方を活用し、今日社会に求められる最適な仕組みをつくり出していく」という技術分野の大事な特性を分かりやすく説明しているなど感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

そのほか。松原委員、お願いします。

○松原委員 今の野村委員のお話と関連するのかなと思いますけれども、教科書を読み比べながら、改めて技術分野というものはどのような教科なのかと考えたんですけれど、私たちの暮らしを支えるような製品などがどうやって開発されてきたのかみたいなことを考えながら、感じながら、そういったことをする、すごく興味深い教科だなということを改めて感じました。

例えば、いいものを作るといっても、性能がいいけれども値段が高いだとか、性能はいいけれども環境には影響があるとか、そういったものでは成り立たないわけですので、そういうような視点、トレードオフとかを含めて問題解決の視点みたいなことを多角的、または多面的に捉える考え方、見る力とかを育てることができるよう教科だなと強く感じま

した。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかの委員さん、よろしゅうございますか。畑谷委員。

○畑谷委員 技術の授業では、木工制作などの実習に取り組むことが多いと思います。教育図書さんで「スキルアシスト」という別冊の冊子があります。これは実習で扱う機器の名称や操作についての留意点が掲載されているので、実習中に確かめたいことが出てきた際に、この薄い別冊があることで使いやすいのではないかなと想像いたしました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

須藤委員、お願いします。

○須藤委員 どの教科書にもやはり二次元コードが充実していきまして、制作している実習に役立つ基礎技能動画が見られるようになってきているのはいいなと思いました。中でも、開隆堂出版は、安全に実習するための注意点も含めて、文字とか写真での解説が非常に詳しく載っています。これは若手の先生にとっても指導する際に非常に役に立つ情報になるのだらうなと感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ただいま、委員の皆様からは開隆堂出版を推す声が多いと受け止めました。総合的に見て、開隆堂出版ということではよろしゅうございますね。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 競技の結果、技術分野の教科書は開隆堂出版といたします。

続いて、家庭の分野について協議を始めます。ご発言をお願いします。

須藤委員。

○須藤委員 家庭科は、家族とか衣食住とか、消費や環境といった分野を扱う教科だと思っています。家庭科の学びをきっかけに生活の在り方を見つめて、協働するよさや健康や快適、安全に過ごすための工夫とか、また、文化の継承とか創造とか、持続可能な社会の構築などについて考えることができる、自立した社会の担い手を育てる、そういったようなことが家庭分野の学びから育まれたらいいなと思います。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

松原委員。

○松原委員 今の須藤委員のご発言ですけれど、技術・家庭の家庭分野をなぜ学ぶかという目的のところはすごく大事だなと感じました。その観点で言うと、東京書籍は、「自分の生活チェック表」みたいなものがありまして、その中で、学習を通じて自分の中の変化を自覚しながら客観視するみたいなことができるような、いいつくりになっているなと感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

野村委員。

○野村委員 教育図書について言及したいと思います。教育図書は二次元コードから栄養士さんが利用しているような献立計算ソフトが読み取れ、栄養計算や栄養バランスを簡単に調べることができるようになっています。三鷹市が力を入れている食育の授業でも活

用できる教科書なのではないかなと感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

いかがですか。畑谷委員。

○畑谷委員 食育に関してということで、調理実習に関するページで言えば、開隆堂出版さんは調理手順が時系列で説明されており、大変分かりやすい解説だなと感じました。まるでレシピ本のような構成で、私も参考にしたいなと、今晚のおかずにしようかなと思ったほどです。生徒もこのレシピ本のような教科書を見ることによって、調理への意欲がぐんと高まるのではないかなと感じたところです。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

須藤委員。

○須藤委員 私も開隆堂出版についてなんですが、幼児の生活を学ぶ単元が充実しているなと感じました。幼児の写真があるんですが、そこに添えられた吹き出しから、幼児の気持ちを想像することができる。また、優しく大切に接していこうという気持ちが膨らむだろうなと思いました。家族を支える一員として、ひいては、三鷹地域の一員として、できることを探し行動を起こそうとする三鷹の中学生の姿が非常に期待できるかなと感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

技術分野では、先ほど開隆堂出版と決定をしたところです。家庭分野も開隆堂出版ということにしたいと思いますが、開隆堂出版でよろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 協議の結果、家庭分野の教科書は開隆堂出版といたします。

次に、外国語・英語でございます。協議を始めます。ご発言をお願いいたします。

野村委員。

○野村委員 6社ございますが、この6社が今日的傾向と言っているのかもしれませんがけれども、どの教科書にも様々な国籍の人物が登場し、喜び、時に迷い、仲間と励まし合いながら成長していくというストーリー仕立てになっています。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

畑谷委員。

○畑谷委員 私も野村委員と同じく、生徒は教科書に出てくる同学年の登場人物に自分を投影しながら、国際交流の視点で、多文化理解、そして、英語の知識、技能などを学んでいくことができ、教科書自体がとても楽しい教科書だなと思いました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

須藤委員、お願いします。

○須藤委員 1年生の教科書を見ると、どの教科書も音声学習から始まって、徐々にリーディングやライティングが増えていきました。小学校の学習を生かして中学校の学習にうまく接続できるような配慮がされていることが非常に分かりました。また、その中でも東京書籍では、学年が上がるたびにリーディングの語数を増やしていき、高等学校への接続もしっかり意識されているなと感じました。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございます。

松原委員。

○松原委員　私は実践的な英語の学びといったところを意識して見てみたんですけども、例えば、教育出版とか開隆堂さんとか啓林館さんですが、その中でペアワークみたいなものを通じて短いやり取りをすとか、そこで即興的な対話をするみたいなどころだとか、あとは、簡単なディスカッションをすだとか、そういったところがありました。こういったものは、使う英語として実践的なもので非常にいいなと感じました。

○貝ノ瀬教育長　そうですよね。そういう意味では、どの教科書も二次元コードの音声資料からネイティブが話す会話ですとかスピーチを繰り返し聞くことができるという意味で、実践的な英語を学べる教科書がそろったと言えると思いますよね。

ほかの委員さん、いかがですか。須藤委員。

○須藤委員　三省堂なんですけど、各単元の最初のページに「Goal Activity」が示されていました。学習の最後に、どのような会話やスピーチができることを目指すのかというのが非常に意識しやすい構成だなと。そういった観点からも、どの生徒も学習に目標が立てやすいだろうなと感じます。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございます。

松原委員。

○松原委員　今の須藤委員のおっしゃるのはそのとおりだなと感じました。

あと、私が先ほど取り上げていなかったところで言うと、光村図書出版さんですけど、巻末に「Let's Talk」という教材がついているんですが、そこでは各単元で学んだ基本文型を使って短い会話をやり取りするような挿絵が入っています。教える先生の視点からすると、こういうのを利用すると、授業中に英語を話す場面というのを多く設けやすいなと思いますし、生徒さんもイラストに合わせて応答する英文を考えることがしやすいなというところで、それぞれ実際の具体的な会話とともに学びやすいなと感じたところでは。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございます。

ほかのいかがですか。畑谷委員、お願いします。

○畑谷委員　英語では、皆さん先ほどからもおっしゃっていますけれども、外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指しているんだと思います。そして、三鷹市では多くの外国籍の方がお住まいですし、英語を使って様々な人と対話や交流を楽しめる場面が大変多いと思います。楽しもうという態度や技能をぜひこれからも、教科書を交えて育てていきたいと思います。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございます。

そういう意味では、どの教科書も学習内容が系統的に整理されていて学びやすいという教科書でありますけれども、中には、特にご指摘があった対話学習、これは私も重視すべきだと思いますので、そういう場面が充実すると考えられる光村図書出版でまとめたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 英語の教科書は光村図書出版といたします。

最後に、道徳について協議を始めます。ご発言をお願いいたします。

畑谷委員。

○畑谷委員 私は光村図書出版さんの、各教材で今、何について考えるのか、しっかり自覚させるとともに、学習を通して考えたことを一言で記入できるスペースを設けているんですね。ここが学習ごとに自分の気づきを残していくということができて、大切だなと思いました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがですか。松原委員。

○松原委員 今、畑谷委員がおっしゃったように、この分野というのは何について考えるのかといったことはすごく大事なことだと思います。この分野では、自分事として自分の力で考えるということが非常に大事なことだと思っていて、その観点から教科書を拝見していました。

教育出版さんについては、教材の最初に自分で問いかけるみたいな導入のところがあったんですけども、あとは、最後のところについては、「学びの道しるべ」というところがあって、それぞれ道徳的な価値みたいなものについて問題意識を持つような質問だとか、あと、自分事として、多面的だったり多角的だったり、自分で考えることを深めるような問いだとか、自分を振り返るような問いとか、そういったことを工夫して構成しているのかなと感じました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

須藤委員、いかがですか。

○須藤委員 私も、松原委員がおっしゃるように、道徳というのは考えるということが大事なのかなと思います。その中で、東京書籍もそれぞれの教材の最後に、「考えよう」とか「見つめよう」という設問がありまして、より深く考えさせるような工夫がされているなと思いました。

○貝ノ瀬教育長 おっしゃるように、多面的・多角的に考える、たくさん触れたり議論しながら道徳的な価値について考えを深めるということが今の道徳の授業に非常に重視されている、求められているところだと私も思います。

ほかにいかがですか。畑谷委員。

○畑谷委員 私は日本文教出版さんのことについて、意見を言わせていただきます。いじめと向き合うことをテーマにした教材が日本文教出版さんは多く取り上げられていると思いました。いじめの問題は、生徒にとってはとても身近に考えられる課題ですし、多様性を尊重し合う社会の実現に向けて、そして、自己理解や他者理解を深め、お互いの存在を大切に思う心を育んでいくことに役立てられると思いました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。大事なことですね。

ほかに。野村委員。

○野村委員 近年、個人と社会のウェルビーイングということをよく言われますけれども、そのキーワードが今回の教科書では取り上げられていると感じます。学研の特設ペー

ジには、共に生き抜くウェルビーイングをテーマにした内容が記載されていますし、日本教科書では、1年生でウェルビーイングカードを用いて、自分と友達の考えを比較しながら考えを深められる工夫がなされています。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。「多様性」「ウェルビーイング」、どちらも三鷹の教育においては大切なキーワードになっております。道徳においては、「考え、議論する道徳」が求められているところですが、その点においてはいかがでしょうか。

須藤委員。

○須藤委員 今、教育長がおっしゃったように、考えるとか議論とかが道徳では求められるということなんですけれど、そういう点では、あかつき教育図書の「マイ・プラス」という場を設定して、話合いやロールプレイングを取り入れた活動ができるように工夫しているのが非常に面白いなと思いました。教材をただ読むだけではなくて、活動を取り入れることで、生徒たちも非常に主体的に議論、また、学びができるのかなと思います。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

ほかの委員さん。野村委員。

○野村委員 今の須藤委員に加えて、あかつき教育図書で紹介したいことがございます。タイトルの部分に内容項目を、これはあえてだと思えますけれども、記載されていません。決まった考えや一つの結論に導く授業にならない工夫だと解釈します。多様な観点から考える上で大切な配慮だなと考えた次第です。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

お話のように、あかつき教育図書では、全ての教材の最後の授業の狙いを明確にする問いが明示されている。特に、若手の先生方も増えているので、そのような先生方も安心して授業が展開できるのではないかと思います。

道徳については、今までお話がございましたように、あかつき教育図書ということにしたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 道徳の教科書は、あかつき教育図書といたしたいと思います。

お疲れ様でございました。以上で、令和7年度使用中学校教科用図書についての協議を終了いたします。

続きまして、小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択についてを協議いたします。

事務局の説明のとおり、教育支援学級の教科用図書につきましては、文部科学省検定済教科用図書または文部科学省著作教科用図書を使用することが適当でないとき、学校教育法附則第9条及び同法施行規則第139条の規定によりまして、一般図書を教科用図書として使用することができることとなっております。

また、教育支援学級における教育用図書については、同一教科書を採択する期間を定めている義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条、同法施行令第14条第1項におきまして例外とされておきまして、毎年必要な変更を行って採択をしております。

今回採択の対象となりますのは、令和7年度に教育支援学級で使用する一般図書でござ

います。事務局からは、今回、小・中学校ともに、全ての教育支援学級は検定教科書を使用するというので、一般図書を教科用図書としては使用する意向はないと学校側からは報告をいただいております。

その点について、ご意見はございますでしょうか。松原委員。

○松原委員 三鷹市は、ご承知のとおりで、小・中一貫教育をコミュニティ・スクールの基盤として行っていますけれども、この教育支援学級においても、小・中一貫教育の中で9年間、責任を持ってきちんと子どもたちに対して個別指導計画の中で学習目標もちゃんと位置づけて、その中で子どもたちの学力を指導するというのも求められていることだと考えています。そういうことを考えると、検定教科書を主たる教材とするということ自体は適切なことかと考えます。

あと、三鷹市では、支援学級の子どもたちは、交流だとか共同学習とか、通常学級の子どもたちと一緒に学ぶ機会というのも非常に多くありますので、そういった意味でも、検定教科書を用いるということは適切だと考えます。

○貝ノ瀬教育長 ほかの委員さん、いかがですか。

それでは、確認いたしますが、小学校教育支援学級及び中学校教育支援学級で使用する教科用図書としては、通常学級でも使用している文部科学省検定済教科用図書を使用することによってよろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 それでは、協議の結果、小・中学校の教育支援学級で令和7年度に使用する一般図書は採択しないということといたします。

以上で、今年度採択する全ての教科用図書が決定いたしました。

絞り込まれました教科用図書について、採択の原案として事務局においてまとめまして、議案として提案させていただきたいと思っております。

ここで一旦、休憩とさせていただきます。再開は2時45分といたしたいと思っております。まずは休憩に入りたいと思っております。お疲れさまでした。

午後 2時27分 休憩

午後 2時44分 再開

○貝ノ瀬教育長 それでは、休憩前に引き続きまして、会議を再開いたします。

委員の皆様にお諮りいたします。この際、議案第25号 令和7年度使用小・中学校教科用図書及び小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択についてを日程第2に追加し、以下、順次繰り下げて議題といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 ご異議なしと認めます。よって、さよう決定いたしました。

日程第2 議案第25号 令和7年度使用小・中学校教科用図書及び小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択について

○貝ノ瀬教育長 それでは、日程第2 議案第25号を議題といたします。

(書記朗読)

○貝ノ瀬教育長 提案理由の説明をお願いいたします。松永教育部長。

○松永教育部長 それでは、ただいま配付されました議案第25号につきまして、ご説明をさせていただきたいと思えます。

議案書の5ページをごらんください。令和7年度使用の小学校教科用図書でございます。先ほどご説明させていただきましたとおり、今年は採択替えの年ではございませんので、令和7年度は現在使用している令和6年度と同一のものを採択するということになります。

続きまして、6ページ目をお開きください。令和7年度使用の中学校教科用図書でございます。先ほどご協議いただきました内容を踏まえ、こちらのようを一覧にさせていただきましたので、採択をお願いしたいと思います。

続きまして、7ページ目でございます。令和7年度使用小・中学校教育支援学級用教科用図書につきましては、先ほどご協議いただきましたとおり、文部科学大臣の検定を経ました教科用図書である、先ほどごらんいただきました小学校の5ページ、中学校の6ページに記載されております通常の学級と同じ教科用図書を使用するという内容となっているところでございます。

提案理由の説明は以上です。

○貝ノ瀬教育長 以上で、提案理由の説明は終わりました。先ほどご協議をいただきました内容でございます。

委員の皆様のご質疑をお願いいたします。

ご確認いただきたいと思います。

ご質問、ご意見等がなければ採決いたします。議案第25号 令和7年度使用小・中学校教科用図書及び小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 ご異議なしと認めます。本件は原案のとおり可決されました。

この際、議事の都合により、休憩いたします。

午後 2時48分 休憩

午後 2時49分 再開

○貝ノ瀬教育長 それでは、休憩前に引き続きまして、会議を再開いたします。

日程第3 教育委員会の個別計画改定に向けた基本的考え方等について

○貝ノ瀬教育長 日程第3 教育委員会の個別計画改定に向けた基本的考え方等についてを議題といたします。

初めに、事務局から説明をお願いいたします。齊藤部長、お願いします。

○齊藤教育部調整担当部長 それでは、教育委員会の個別計画改定に向けた基本的な考え方について説明いたします。

協議資料をごらんください。

まず、教育委員会所管の個別計画についてですが、教育ビジョン、教育支援プラン、三鷹市立図書館の基本的運営方針、それから、みたか子ども読書プラン、この4本の計画が

ございますが、今年度、第5次三鷹市基本計画が6月に議会で確定したことを受け、基本計画との整合性を図りながら、各所管の個別計画を今年度中に改定することとしております。

改定に向けての基本的な考え方ですが、まずは共通事項として、個別計画の改定に当たっては国や都の計画を踏まえるとともに、第5次基本計画等との整合を図りながら策定することとしております。

計画の目標年次は、各計画とも第5次基本計画との整合を図り、2027（令和9）年度としております。

続いて、教育ビジョン2027（仮称）についてです。

1点目、教育ビジョンは、教育基本法第17条に基づく教育振興のための施策に関する基本的な計画とします。

2点目、第5次基本計画等の体系を踏まえながら、三鷹の教育が目指す姿、ビジョンを市民に向けて分かりやすく示すとともに、目標年次までの4年間に取り組む施策を記載します。

3点目、これまでのビジョンでは図書館に関する施策は含んでおりませんでした。今回のビジョンでは、教育委員会が所管する全ての事務事業を網羅的に掲載するという趣旨から、図書館を含む教育委員会の所管する事務全体の基本的な計画とします。

4点目、これまで教育ビジョンを踏まえた年度ごとの基本方針を定めて、基本方針に基づき事業計画を策定してきたところですが、基本方針については、教育ビジョンや事業計画と重複する内容が多いことや、また、教育ビジョンが今回、対象期間が4年間と短くなったことなどを踏まえて、今後は4年間の計画である教育ビジョンと、教育ビジョンに基づく年度ごとの事業計画という形に再編していきたいと考えております。

なお、事業計画の中から主要事業等を検証する地教行法で定める点検評価については、引き続き実施をしていきます。

続いて裏面になります。

教育支援プラン2027（仮称）についてです。

1点目、教育支援プランは、「特別支援教育の推進について」という平成19年の文科省通知における特別支援教育を推進するための基本的な計画として位置づけます。

2点目については、共通事項と同様です。

続きまして、図書館の基本的運営方針（仮称）についてです。

1点目、図書館の基本的運営方針は、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」という平成24年の文科省告示における図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針とします。

2点目については、共通事項と同様です。

続いて、みたか子ども読書プラン2027（仮称）についてです。

1点目、みたか子ども読書プランは、子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項に基づく市における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画としての位置づけとなります。

2点目については、共通事項と同様です。

最後に、今後のスケジュールです。もう一枚の資料、教育委員会における個別計画の見直しについてをごらんください。

上段につきましては、各個別計画ごとの関連する関係団体や審議会等を掲載しておりますので、ご確認いただければと思います。

下段のスケジュールですが、現在、各個別計画の素案を各課で作成をしておりますが、まずは来月9月の教育委員会の後、素案を確定しまして、その後、校長会や関係団体の意見交換を経て、12月に計画案を確定したいと思います。それから、年明け1月にパブリックコメントを実施し、3月に計画を確定するといった流れになります。

説明は以上です。

○貝ノ瀬教育長 委員の皆様のご質疑をお願いいたします。

ご質問、ご意見等がなければ、確認いたします。教育委員会の個別計画改定に向けた基本的な考え方等についてをご協議いただきましたけれども、ご了解いただけましたでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 計画をつくる基本的な段取りということですので、このスケジュールに従って、またその都度ご提案申し上げますので、ご質疑をお願いしたいと思います。

それでは、本件につきましては、委員の皆様のご了解をいただいたものといたします。

日程第4 教育長報告

○貝ノ瀬教育長 引き続き、日程第4 教育長報告に入りたいと思います。

では、総務課からいきましょうか。お願いします。

○齊藤教育部調整担当部長 資料の4ページ、5ページをお開きください。

まずは、4ページの実績等報告です。

7月25日から31日までの間で、監査委員による令和5年度の決算監査がありました。教育部は25日では歳入がありまして、デジタル機器関連の都補助金についての説明をするとともに、29日の歳出では、各課全般の執行状況について説明したところです。

8月2日は市議会の文教委員会が開催されまして、令和5年度の教育に関する事務と図書館の点検評価について行政報告を行いました。

続きまして、5ページの予定等の報告です。

8月14日に東京都市教育長会はオンラインで開催される予定です。

8月23日には東京都市町村教育委員会連合会の第2回理事会等が開催され、畑谷委員に出席していただく予定です。

総務課は以上です。

○貝ノ瀬教育長 続きまして、センター、村部課長。

○村部総務課施設・教育センター担当課長 6ページ、7ページをお開きください。

学校施設関係の工事予定ですが、7ページの予定で、新たに取り組んでおります(2)工事・監督につきましては、4行目の防災設備等改修工事の第二中学校と第五中学校、下

から3行目のエレベーター改修工事の第七中学校、その下の屋上プール改修工事の第七中学校となっております。

続きまして、教育センター事業といたしましては、まず6ページ、実績をごらんください。

教科書展示につきましては、7月5日(金)に終了いたしました。24日間で102人のご来場がございました。

また、一番下、科学発明教室につきましては、7月7日(日)にC・Dクラスの2回中の第1回目が終了いたしました。

今後の予定といたしまして、7ページをごらんください。

8月6日(火)、7日(水)に記載のクラスの2回中の2回目が教育センター2階、理科室で開催されます。

私からは以上になります。

○貝ノ瀬教育長 学務課長、久保田課長。

○久保田学務課長 資料の8ページ、9ページをごらんください。

8ページです。7月2日から18日にかけて、各校にて三鷹産野菜の日を実施し、三鷹産の夏野菜を使用したカレーを提供し、市内産野菜の活用を図りました。

7月3日に学校保健会総会を開催いたしました。令和5年度事業報告や令和6年度の事業計画をご承認いただくとともに、総会後には、岡山大学病院の岡田あゆみ先生による「起立性調節障害」をテーマとした講演をオンラインにて開催し、32名の参加があったところでございます。

7月10日に学校給食運営委員会を開催いたしました。令和5年度事業報告や令和6年度の事業計画、学校給食に係る公費負担等について承認をいただくとともに、食材の新規登録や学校給食調理業務委託等について報告をいたしました。

7月22日に学校・学童保育所の規模の適正化検討会議を開催いたしました。教育委員会をはじめ、企画部、市民部、子ども政策部、都市整備部が参加し、令和6年度時点での児童・生徒の将来推計数値を共有するとともに、学校・学童保育所の規模適正化について意見交換を行いました。

7月31日に第2回のアレルギー疾患対策検討会を開催いたしました。アレルギー疾患対応マニュアルの改定について、前回の検討内容を踏まえたマニュアル(素案)をお示しし、改定に向けて意見交換を行いました。

続きまして、9ページ、今後の予定になります。

8月19日と21日に、令和7年度に給食調理業務委託の更新を迎える5校において、プロポーザル方式による業者選定を実施するため、現地での説明会を実施いたします。

その他報告事項につきましては、記載のとおりです。

○貝ノ瀬教育長 総合教育相談室、星野課長。

○星野学務課教育支援担当課長 初めに10ページ、実績報告でございます。

7月2日の通級支援委員会では、通級指導についての新規10件を行いました。

また、同日の就学支援委員会では、現在、小学校の教育支援学級に在籍する6年生の中

学校への就学についての審議を9件行いました。

7月23日、24日、就学支援委員会ですけれども、現在、こちらでは幼稚園、保育園の年長児の小学校への就学について、行動観察とそれを踏まえた審議を17件、そして、小学校の通常の学級から教育支援学級への転学の審議を2件、合計19件の審議を行ったところでございます。

また、7月22日、24日、25日に教員を対象とした教育支援研修を実施いたしました。22日は、支援が必要な児童・生徒の支援策などを検討する校内委員会の運営の仕方など、主幹教諭や教育支援コーディネーターを対象として研修を実施いたしました。また、24日、25日には、子どもの発達のアセスメントをよりの確に行えるように、発達検査などのデータの見方や、それらの客観的なデータから支援計画を作成する内容の研修を実施いたしましたところでございます。

続いて11ページ、今後の予定についてでございます。

8月22日、適応支援教室A-Room担当者と連絡会を予定しております。連絡会では、各学校の長期欠席、不登校を担当している教員や、A-Roomに通室している児童・生徒の担任を参加対象として、個別の情報共有や2学期以降の取組、参加者同士での協議を予定しております。

また、記載のとおり、就学支援委員会、通級支援委員会の実施を予定しております。

総合教育相談室からは以上となります。

○貝ノ瀬教育長 次、指導課、福島課長。

○福島指導課長 12ページ、13ページをお開きください。

7月3日に高山小学校が小学校自然教室に行きまして、無事戻ってまいりました。これで15校全ての小学校の自然教室が無事、大きな事故やトラブルもなく終えることができました。

7月19日（金）、小・中学校の終業式が行われました。

31日から3日間にわたって初任者研修が行われまして、今年度の三鷹市の小・中学校の初任者が、数名、感染症にかかってお休みがありましたけれども、みんな元気に研修を終えることができました。

13ページの予定です。

予定については記載のとおりでございますが、26日（月）、三鷹市は1週間早く小・中学校始業式ということで始める予定になっております。現在のところ、特に熱中症ですとか、そういった事故やトラブルの報告は入っておりません。

報告は以上です。

○貝ノ瀬教育長 次に、教育政策推進室、越室長。

○越教育政策推進室長 14ページ、実績等のご報告でございます。

7月10日（水）でございますけれども、スクール・コミュニティ推進会議、今年度の会議を開催したところでございます。こちらにつきましては、市内全域を対象に活動する商工会ですとかJA、社会福祉協議会、あるいは、市内に所在する大学等の関係団体の方にお集まりいただきまして、スクール・コミュニティの推進について、意見交換、情報交

換させていただきます会議でございます。

当日は畑谷委員も地域ケアネットワーク新川・中原の代表としてご参加をいただきました。ありがとうございました。

また、22日でございますけれども、三鷹中央学園コミュニティ・スクール委員会の「CS委員と教員の熟議」が行われたところでございます。

右側15ページの予定等にもございますけれども、この時期、各学園でCS委員と教員との熟議等によりまして、教員からのいろいろな意見をCS委員が聞くというような活動が行われているところでございます。

左側に戻りまして、30日(火)には、今年度4回目となります、三鷹教育・子育て研究所の「国立天文台周辺まちづくりにおける義務教育学校に関する研究会」を開催いたしました。この会議におきましては、義務教育学校の組織、あるいは、教育支援の在り方について、研究員の皆様のご議論をいただいたところでございます。

そのほか、コミュニティ・スクール委員会等については、記載のとおりでございます。

右側についても、先ほど触れたところでございますので、私からは以上になります。

○貝ノ瀬教育長 続きまして、図書館、大地館長、お願いします。

○大地三鷹図書館長 16ページをごらんください。

まず、展示でございます。6月11日から7月28日まで、太宰治さんの桜桃忌関連の展示を本館で実施させていただきました。

また、14日には、「みたかとしょかん図書部！」の定例会、19日から8月18日にかけて、「中高生におススメ！POP大賞」の応募期間となっております。

17ページ、予定でございます。

8月6日から9月2日まで、石倉ヒロユキさん原画展「やさいぎらいのガジガジくん」の展示をさせていただき予定でございます。

8月20日からは、「こころをちょっとひと休み」ということで、共催展示を毎年実施させていただいております。

また、イベントのところでは、8月3日から「まなびの場事業」ということで、ティーンズ向けに集会室を開放するという事業をさせていただきます。

8月11日には、みたかとしょかん図書部！の定例会がございまして、8月20日からは、「中高生におススメ！POP大賞」の投票期間となっております、応募いただいた作品に対して投票する期間となっております。

私からは以上でございます。

○貝ノ瀬教育長 スポーツと文化部、平山部長。

○平山教育部理事 18ページ、スポーツと文化部、私からは芸術文化関連の事業についてご報告させていただきます。

18ページの真ん中あたり、7月5日(金)から9月30日(月)まで、「Poki(ポキ)4コマまんがコンテスト2024作品募集」というものを行っているところでございます。Poki(ポキ)につきましては、宮崎駿さんがデザインした三鷹のキャラクターということで、こちらを活用した4コマ漫画のコンテストでございます。

この行事に関連しまして、18ページの一番下、8月3日(土)にPoki(ポキ)4コマまんがコンテスト2024関連イベントとしまして、「夏休み4コマまんが教室」を開催いたしました。1年生から3年生と4年生から6年生の2つに分けて行いまして、1年生から3年生の部では、21人のご参加と保護者約20人、4年生から6年生の部では、22人、保護者20人ほどのご参加をいただいたところでございます。

私に続きまして、そのほか担当課長からご説明させていただきます。

○貝ノ瀬教育長 八木課長、お願いします。

○八木教育部参事 私からは生涯学習課関連の報告と予定を説明させていただきます。資料の18ページをごらんください。

7月8日(月)でございますが、今年度第2回目の三鷹市文化財保護審議会になります。こちらは任期満了に伴いまして、新しく任期更新ということで委嘱と正副の互選を行ったところでございます。

13日(土)でございますが、大沢の里古民家体験学習でございます。6月29日(土)に続き2回目の「年中行事フィギュア制作ワークショップ」を行いました。8人の参加でございました。

18日(木)でございますが、今年度第2回目の三鷹市生涯学習審議会・三鷹市社会教育委員会議定例会です。生涯学習プランの骨格案について、ご議論をいただきました。

19日(金)でございますが、今年度第2回目の「三鷹まるごと博物館」事業あり方検討助言者会議を開催したところでございます。

20日(土)、22日(月)、23日(火)の3日間でございますが、みたかえるの体験学習「旧石器人になる!」を開催しました。117人のご参加をいただいたところでございます。

27日(土)でございますが、大沢の里古民家体験学習ということで、古民家周辺の「夏の草花ガイドツアー」を開催しました。5人の参加をいただいたところでございます。

続きまして、19ページをごらんください。今後の予定でございます。

24日(土)、31日(土)の2日間でございますが、大沢の里古民家体験学習ということで、「ソーラー竹灯りづくりワークショップ」を開催する予定でございます。

私からは以上でございます。

○貝ノ瀬教育長 二浦課長。

○二浦教育部参事 続きまして、スポーツ関連になります。

7月3日から8月7日まで、三鷹ゆかりのトップアスリートによるバレーボール教室、全6回行っております。

また、7月5日から8月29日まで、アプリのイベントのデジタルスタンプラリー「街頭消火器を探そう」というものを行っております。

また、7月20日(土)、井口グラウンド(仮称)等整備工事説明会を井口コミュニティ・センターで行いました。

26日(金)には、三鷹市スポーツ推進審議会、任期2年の初回でしたので、委嘱を含めて推進計画等のご意見をいただきました。

記載はないのですけれども、7月31日、パリオリンピック、トライアスロンで三鷹市出身の高橋侑子選手が出場されまして、完走され、40位という結果になりました。

右側のページ、今後の予定です。

あした、子ども運動チャレンジ教室、昨年度、市で初めて行ったのですが、非常に好評で、補助金も獲得できたということで、今年度、対象を去年の30人から70人に増やして行きます。申込者60人、小学校3年生、4年生の運動が苦手な子どもを対象に行う予定です。

また、8月11日（日）には、FC東京「三鷹の日」ということで、市内産野菜、朝どれ野菜の販売ですとか、スポーツ体験、あるいは三鷹の阿波踊りの実施など、三鷹の魅力発信に取り組んでまいります。

また、記載はないのですけれども、オリンピックが終わった後のパラリンピック、三鷹市在住・出身、三中出身の車椅子バスケットボールの石川優衣選手が出場いたします。15日に市で壮行会を行って、初戦が8月30日の夕方5時半、オランダ戦が組まれております。

説明は以上になります。

○貝ノ瀬教育長　　ありがとうございました。

以上で、報告が終わりました。

委員の皆様のご質疑をお願いいたします。野村委員。

○野村委員　　6月の定例会でお話したことと記憶していますけれども、学校健診に関連して、医師の診察の在り方について、たしかお話しさせてもらったと思います。聴打診及び特に視診が必要な側弯症等の確認における着衣の有無について、医師会と合意形成をぜひ進めていただきたいというお話をさせていただきましたけれども、その後何か進捗があればご報告いただきたいと思います。

○貝ノ瀬教育長　　久保田課長。

○久保田学務課長　　委員のお話をいただきました後、すぐ三鷹市医師会にも連絡をとりまして、先日、三鷹市医師会事務局からも、ぜひ協議をお願いしたいということでお返事をいただいております。また、委員から近隣市の中でも統一を図っていくということで指摘をいただきましたので、まず、三鷹市医師会としっかりと協議を行うとともに、多摩地域の課長会において、各自治体と医師会で、例えば文書による取決めがある自治体があるかどうかということの調査を三鷹市からの質問事項として提出をさせていただいているところになります。

○野村委員　　ありがとうございます。ぜひよろしくをお願いいたします。

○貝ノ瀬教育長　　久保田課長、医師会は分かりますけれど、市としては、例えば、どこかの課とか部とか、または委員会をつくるとか、何かそういう構想はできているんですか。

○久保田学務課長　　三鷹市では健康診断は着衣が基本で、お医者さんの判断で必要が生じた場合については脱衣を認めるというところ、脱衣をする際にも、最大限子どもの心情、プライバシーに配慮する、この基本は変わっておりません。明確な基準、例えば、特に脱衣をする場合、この検査については脱衣を認めましょうとかの細かい部分を医師会と今回

協議していきたいと考えておりますので、実際には事務の担当者レベル及び校医と教育委員会の認識の中で、十分示すことが可能だと考えております。

○貝ノ瀬教育長 その事務の担当者レベルというのは、学務課長ということでもいいんですか。

○久保田学務課長 はい、そのとおりでございます。

○貝ノ瀬教育長 野村委員、いいですか。

○野村委員 よろしく願いいたします。

○貝ノ瀬教育長 ほかの委員さん、いかがでしょうか。須藤委員。

○須藤委員 夏休みの子どもの部活についてお聞きしたいのですが、夏休みに入ってから、特にこの7月は非常に暑い夏になっているんですけど、去年は企業さんから提供いただいたいろいろなグッズで暑さ対策等を行っているという報告を聞いたんですが、今年は現状どのような形で、部活をやる、やらないの判断とか、実際、子どもたちの安全・安心を守るという意味での取組とか、教えていただければと思います。

○貝ノ瀬教育長 齋藤課長、お願いします。

○齋藤指導課教育施策担当課長 各中学校の部活動の状況でございますが、こちらは部活動にかかわらずWBGTの測定を行い、31度以上の場合には活動をしないとなっておりますので、今日も午前中、校長と話していたら、9時、10時の段階ではWBGTの指数が上がって外部活がほとんど今できない状況だということは聞いております。

その一方で、WBGTが31度に達していない中であれば活動は認めていますので、その中でも、熱中症といった対策としまして、委員から今、お話のありました昨年度の検証結果を、先週から今週にかけて、各中学校では部活を担当している顧問等が、シャープ株式会社さんの暑熱対策のミニ研修を今、行っているところです。各部活、2、30分活動したら10分程度休んだり、休憩を必ず設けるとして各学校は部活動に取り組んでおります。

また、今年度のシャープ株式会社さんとバイオデータバンクさんとの三者の取組ですが、昨年度の検証結果を踏まえ、野球、サッカー、陸上、テニスの外での4部活に絞って、お盆明けになるんですけども、8月19日から9月末日まで、シャープの適温蓄冷材と、あと、バイオデータバンクさんのウェアラブルウォッチを活用して、さらに各部活動でどのような休憩時間を設定する、ルールを設けることによって子どもたちの暑熱対策が効果的なのかを検証し、来年度に向けて、そういったルールの策定といったところを目標に取り組んでいく次第でございます。

○須藤委員 分かりました。ありがとうございます。私も農家なのでほとんど外にいますけれども、非常に辛い。ちょっと激しい作業をするだけでも息が上がって、かなり厳しい状況なので、運動となるとなるとおさらかなと思ったので、ありがとうございます。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。齋藤課長、来年度に向けてルールの策定も大事なことでございますけれども、同時に、須藤委員からの前半のご質問の中で、冷却関係の手で持つとか、首にとか、時計とか、そういったものは有効ということはもう明らかですよね。ですから、それが恒常的に使えるためには一定の予算措置が必要になってくるかもしれま

せんけれども、その辺はどんな構想を持っているんでしょうか。

○齋藤指導課教育施策担当課長 一定のそういったグッズを使うところで効果はあるんですけども、いかんせん、費用の分は意外とするといったところでは、全児童・生徒にそれを配布するのはなかなか難しいかなと考えていますので、そういったところも鑑みながら検討していきたいと考えております。

○貝ノ瀬教育長 検討しなくちゃいけないでしょうね。

それと、WBGTですか、31度というのは。あれは日陰で測るとひなたで測るのは違うのではないかと思うんですけども、そこはちゃんと徹底しているんですかね。

○齋藤指導課教育施策担当課長 教育長がおっしゃるとおり、気温と、あと、直接の日光、呼吸を使って、今、呼吸を使うというものがデジタルですぐ測れるものもできてはいるんですけども、あと風通しなんかもありますので、測る場所によって若干変わってくるということはあるんですけども、各学校には、活動場所で必ず測るようにといったところで周知はしております。

○貝ノ瀬教育長 よろしくお願ひします。

ほかの委員さん、いかがですか。

では、日程第4、教育長報告を終わります。

以上をもちまして、令和6年第8回教育委員会定例会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。お疲れさまでした。

午後 3時24分 閉会